Mosaic Art

伝統技法を継承し、現代感覚で表現するモザイクの世界！

「岡田 七歩美のモザイク」展から――

岡田七歩美さん（ギャラリーにて）

メインフロアの展示

メインフロアの展示

ロフトよりギャラリーをのぞむ（手前はガラスモザイク）

ロフトフロアの展示

この秋、11月2日～11日まで東京・渋谷区松濤の閑静な住宅街の一角にある私立美術館〝ギャラリーTOM〟でモザイク作家・岡田七歩美さんの「石やガラスが描きだす、小さな世界」と題したモザイク展が開催された。

岡田さんは、幼い頃から絵を描くことやモノをつくることが好きで、都立芸術高校に進んで造形教育の基礎を学び、美大を卒業した後は働きながらアーティストの道をめざし、イタリアの美術・文化にふれたいという思いからイタリア語を勉強していく中で、イタリア美術の粋の一つである〝モザイク〟と出会い、1995年イタリア政府給費留学生の資格を得て、モザイクの街としてつとに名高いラヴェンナでビザンチン・モザイクの伝統技法から現代のモザイク技法までを修得した。その後、ドイツの美術大学で絵画の勉強を重ね、帰国後、モザイクアートの発展・普及をめざす〝ナホミオカダ造形表現研究所〟を設立、自らのモザイク作品の発表と研さんの場としつつ、2011年には〝のがたモザイク工房〟を立ち上げてモザイク教室を開校したり、オーダー作品の製作に取り組んだりしている。

そうした活動の延長線上で今回の岡田さんの作品展の開催が実現した。その会場となった〝ギャラリーTOM〟は、盲人（視覚障害者）が彫刻に触って鑑賞できる場所として村山亜土（故人）・治江によって1984年に創設され、今年で27年目を迎える私立の小さな美術館

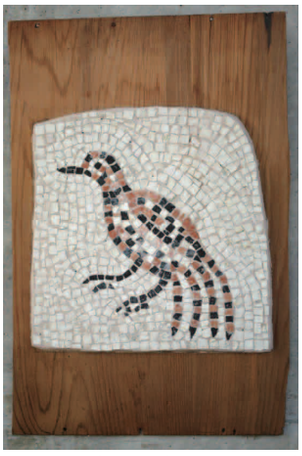
● 岡田 七歩美（おかだ なほみ）さん
プロフィール
東京都立芸術高校デザインコース・多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。10 年後にイタリア留学。モザイクの街、イタリア・ラヴェンナで古典・現代のモザイクを学ぶ。
その後、国立ベルリン美術大学へ留学し、絵画の勉強に集中する。帰国後2000 年ナホミオカダ造形表現研究所設立、2011 年に〝のがたモザイク工房〟を立ち上げ、モザイク教室と、オーダー作品の製作に取り組んでいる。
東京都中野区野方 5-17-6
nogata@mosaico.jp

■ ギャラリー TOM
東京都渋谷区松濤 2-11-1
TEL 03-3467-8102
FAX 03-3467-8104
http://www.gallerytom.co.jp

『いのり』大理石、ガラスモザイク

『はつが』大理石、ガラスモザイク（下地・額縁は茶箱の古材）

「ペットのメモリアルアート」大理石


『トリ』大理石（下地は桐のタンスの古材）

のがたモザイク工房のモザイクボード

として知られる。そうした機縁もあって今回、岡田さんは触って楽しめるような作品も出品したほか、桐のタンスの古材を活用してモザイク作品を貼付けたり、近年依頼の多いペットのメモリアルアートとして手がけたモザイク作品なども展示して、来場者の関心をそそっていた。

トラディショナルな技法に支えられた重厚なモザイクの世界に、ポップな色彩感覚できわめて現代を感じさせるモザイク表現を加味した、モザイクの多彩な展観を楽しめたのではないだろうか。個展を振り返って、岡田さんは次のように語っている。

「おかげさまで展示を無事に終えることができました。モザイク教室の生徒さんのお友だちなど、アートやものづくりにそれまであまり関わっていなかった方々にも、タイルやモザイク、生活アートの良さや魅力を少しでもお伝えすることができたのではないかと思います。この手ごたえをふまえ、試行錯誤しながらさらに努力を重ねてまいります。」